

認知症初期集中支援事業について

1 認知症初期集中支援事業の概要について

(1) 高齢者相談センターとの連携

認知症初期集中支援チームと各高齢者相談センターが連携し、情報共有のもと地域の高齢者で認知症の疑いのある人について早期発見・早期対応に繋がります。

(2) 認知症初期集中支援チームの支援内容

高齢者相談センターが、本人や家族からの相談、地域のネットワークからの情報のもと、支援対象者を抽出して、チームに状況を報告します。チームは、支援対象者が医療機関への受診が必要と判断したときは、受診の動機付け、継続的な医療サービスや介護サービスの利用等の勧奨及び誘導等の支援、重症度に応じた助言、身体を整えるケア、生活環境等の改善時の支援を行います。

2 平成29年度の事業実績について

認知症初期集中支援事業実績													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事前 カンファレンス (回)	1	1	1	1	1	0	1	2	2	0	1	1	12
訪問 (回)	0	1	1	0	1	0	1	2	2	2	3	1	14
チーム員会議 (回)	0	1	2	0	2	0	1	2	4	2	5	2	21
相談件数 (初回相談実人数)	1	1	1	1	1	0	3	0	2	0	2	0	12
相談件数 (延件数)	3	6	6	7	11	2	7	8	10	5	8	12	85
初期集中支援チーム 検討委員会 (回)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3

(※支援終了 (モニタリング中) : 4件 支援実施中 : 8件

また、支援対象者のうち、医療サービスや介護サービス等につながったケースは6件となっております。)

(平成30年3月末現在)

3 平成30年度の実績について

高齢者相談センターだけでなく、居宅介護支援事業者や医療機関など関係機関への周知・連携を進め、認知症初期集中支援事業の定着を図ります。

認知症初期集中支援の流れ

